

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第8回高田区地域協議会

2 報告（公開・非公開の別）

(1) 第4回分科会の協議内容について（公開）

(2) 本町ふれあい館の廃止について（公開）

3 議題（公開・非公開の別）

(1) 令和3年度地域協議会の活動計画について（公開）

4 開催日時

令和3年12月20日（月）午後6時30分から午後7時25分まで

5 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

6 傍聴人の数

0人

7 非公開の理由

—

8 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：飯塚よし子、浦壁澄子、小川善司、北川 拓、栗田浩子、小嶋清介、
佐藤三郎、澁市 徹（副会長）、杉本敏宏、高野恒男（副会長）、冨田 晃、
廣川正文、本城文夫（会長）、宮崎 陽、村田秀夫、茂原正美、吉田昌和
（欠席3人）

・ 市役所：高齢者支援課：小林課長、橋本副課長、近藤係長、荒木主任

・ 事務局：南部まちづくりセンター 小池係長、五十嵐主任

9 発言の内容

【小池係長】

- ・ 現在、小川委員、北川委員、栗田委員、西山委員、松倉委員、松矢委員を除く14人の出席があり、上越市域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認し、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告

【本城会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：小嶋委員、本城会長

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【小池係長】

- ・ 資料により説明

【本城会長】

「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし。

(栗田委員、小川委員到着)

— 次第3 報告（1） 第4 回分科会の協議内容について —

【本城会長】

次第3 報告（1） 第4 回分科会の協議内容についてに入る。

なお、12月9日に開催した正副会長会議において、各分科会の今後の動きについて話題になった。第1分科会では来月に地域の活動団体との意見交換を予定しているようである。そこで改めてこのような外部の人との意見交換、或いは、研修会を行う際には事務局を通じて調整して、全委員に案内することを確認したので、ご理解いただきたい。

それでは、第1分科会の富田座長より説明を求める。

(北川委員到着)

【富田委員】

- ・ 第1分科会 協議の要旨に基づき説明

第1回目の発表者として Kinaiya プロジェクトの打田亮介さんをお願いし、一応承諾を得ている。そのスケジュールだが、第1分科会としては当初1月11日の分科会の時に行いたいと考えていたが、先ほど本城会長から説明があったように、全委員で聞いたらよいのではないかということだったので、今日この場で日程を決めてもらいたい。一応30分ぐらいの説明の後、意見交換というか質問コーナーを設けてはどうかと考えている。

そして今日皆さんに配布した3つの資料は市の企画政策課からいただいたものである。「キナイヤ白書2021」は、Kinaiyaプロジェクトが3月12日に高田小町で、この3年間の活動の報告をされた。次に「町家リノベーションをテーマとした担い手育成・関係人口づくり」という資料では、ここにも若者のまちづくり参画というのがうたわれている。そして絵や地図が書いてある資料。これは町家をリノベーションした紹介で、最初に「兎に角」というところ、ここが打田さんがやっているところである。

このように今、町家でいろいろやって、町家をリノベートして活性化しているチームがあることを知った。そういうことで、第1回目は打田さんに来てもらう研修会についてよろしいかどうか、ここでスケジュールを決めていきたい。

【本城会長】

只今の説明について質問等を求める。

これまで4回にわたり分科会でいろいろ議論された結論的なことが説明された。日程等について全体会議で調整してほしいとのことで、富田座長の私案があれば出してほしい。

【富田委員】

1月11日がいい。

【本城会長】

相手のあることであり、その方の日程の都合と調整する。

【富田委員】

打田さんは午後6時半以降であれば、1月は対応できるとのこと。

【本城会長】

その辺の細かい日程は、その方と協議をしていただきたいと思う。

そのほかに質問等を求めるがなし

それでは、第2分科会の杉本座長より説明を求める。

【杉本委員】

第7回高田区地域協議会で市担当課から「令和3年大雪災害対応の検証（最終報告）」の説明を聞き、第4回分科会で協議してまとめたものがこの協議の要旨である。

・第2分科会 協議の要旨に基づき説明

これを市に伝える必要があるが、いろいろな方法がある。自主的審議事項にする方法、自主的審議までいかなくても要望書とする方法等があると思う。早めに知らせたいが、そうも言ってもらえない。今日の会議でどうするか、それとも、次回会議でどうするか決めるか。或いは市担当課から来てもらって伝えることができれば嬉しい。

つけたしで12月23日に高田地区、その他地区の一斉雪下ろしの方法等に関する説明会が、関係町内会長を集めて開催されるので行ってくる（杉本委員は東本町5丁目の町内会長）。同じ名前、名称の会議はこれで2回目になるが、1回目で大変いろいろな要望が町内会長から出されたのを受けて、2回目でどのようになるか、楽しみにして行ってきたいと思っている。

【本城会長】

第2分科会がここまでまとめた点について、市に知らせる方法をどうするかというような話があった。私も市の町内会への対応などいろいろと聞いている。関係町内会長のところにはかなり情報がおりにきているということもあるので、我々の地域協議会の自主的審議の要望として提出するタイミング的なことも考えなければいけないのではないか。その高田地区町内会長協議会の主要なところに係る会議が12月23日に行われるということもあるので、何か後出しみたいな形になることはいかなものかと思う。早急に、例えば市の方に第2分科会で言っている点について周知する。緊急性があると思うので、例えば正副会長で預かって要望するか。その辺について、皆さんの意見もあわせて聞きたい。

【富田委員】

いろいろ意見を出されているわけだが、この分科会は7月までである。ただ、このように意見を出して、自主的審議までいかなくても、それをやると時間もかかるので、この意見を提案し、それで市がどう動くかを見て、そして皆さんが1月、2月に実際に現場検証をする。地域協議会の皆さんがどこでどうなっているか、まず実態を知らなければ、いい知恵も出てこないと思う。そして、それからチェック、アクションを起こして仕組みに落とす。そして再来年の冬に備えるということをする。もう喫緊で1月、2月なので、なかなかすぐには進まないと思うので、そのくらいの段取りでどうかと思う。

【本城会長】

私は今の分科会の話聞いた限りでは、かなりここまで意見をまとめているので、今これから雪が降ろうとしているところでもあり、できれば今日、この高田区地域協議会でこういう議論があったということを含めて、市の方に一応書面がいいのかどうか分からないが、第2分科会の総意としてお伝えする。できれば12月23日の町内会長への説明会の折にも、地域協議会でもこういう意見があるということを知っておきたいというようなことが、もし皆さんの方でよしとされれば、私どもの方で対応しても良いと思っている。

【吉田委員】

今ほど会長が言われたように正副会長に一任する。半年待ってても雪が消えてしまい、わけがわからなくなってしまう。今の熱いうちにやった方がいいと思う。

【本城会長】

今、吉田委員から話があった。富田委員はもう少し時間をかけて来年ということである。

【富田委員】

そうではない。今、本城会長が言われたように12月23日の説明会に間に合わせて、1月、2月をよく見て、そして更に何か問題があるかどうかを検討して、7月にまとめるようにすればいいと思う。

【澁市副会長】

杉本座長から報告があり、今、本城会長から話があった。ただ、これは分科会の委員がまとめたことである。市の方もこれに対する意見を持っていると思う。今年の1月に実際に現場で除雪にあたった人達も同じ意見を持っているかどうかはわからないと思う。それで、2段階の段取りをやられたらいいのではないかと思う。まず最初は、高田区地域協議会の第2分科会、災害に関する分科会だが、市の報告書についてこういう疑問点が出たということで、正副会長から情報提供という形で市にお知らせする。更に1月の分科会で、第2分科会はこれをどのように扱うかということを確認したい。私は杉本委員にもお願いしたが、昨冬の1月に実際に現場でことにあたった防災士、町内会長、或いはその他の方に、私どもはこういう疑問点を持っているが皆さんどう考えるか、その人達と話し合いをして意見を聞くのも一つの方法ではないか。富田委員は今冬に実際にどうなるかをチェックしてみようと言

っているが、今年の冬にあれだけ雪が降るかどうかはわからない。全く降らないことだってある。昨冬の1月の雪を実際に処理した人達に、これについての意見を伺う、或いは市の報告書についての意見を伺う。そういうステップが必要なのではないかと考えているが、これは次回の1月11日の分科会で更に協議したらいいと考えている。

【本城会長】

先ほど申し上げたように、高田区地域協議会の第2分科会では今回の豪雪問題に対してこういう意見が出ているということ、できればなるべく急いで、私ども正副会長、第2分科会座長で市の方に一応お伝えをする、そういう方法を正副会長にお任せいただきたいと思う。そして1月の段階で分科会で更に細かい点を協議いただく。そしてまた全体のものにする。

【富田委員】

私は本町3丁目の防災担当をやっている。町内会長に言って、町内会で去年どんなことをしたのか、町内会でできることは何か、そういうことを分析して具体策をやらうとしている。12月23日に説明会があることは、第2分科会の成果ではないかと思う。いろいろ前向きにとらえて。

【本城会長】

それは成果とかではなく、市が今冬に対応するために市街地の一斉雪下ろしについて説明をする。そういうことは住民のところに伝わってきている。しかしせっかく地域協議会の分科会がこれをテーマにして、ここまでまとめてきているという点で、急いで、12月23日の説明会に間に合うように、明日、明後日くらいに市の方にお伝えする。堅苦しい申し入れだとか、そうではなくて、こういうことを今私達は議論している、だから市の方も一生懸命やってくださいということをお伝えすれば、12月23日の説明会にも、そんなことを披瀝されるのではないかと思うので、よろしければそのような扱いをさせていただきたい。細かいことは正副会長で相談したい。座長の杉本委員を含めて、この会議の後にさせていただく。

【高野副会長】

12月23日の説明会は除雪というよりも一斉雪下ろしについての説明会である。そこに絞っての話し合いということで、除雪の全体の話ではないというふうに聞い

ている。あくまでも昨冬、一斉雪下ろしをすと言ってから実際に下すまでに時間がかかった、そういう問題点を説明したいという話は聞いているので、そのところはちょっとズレがあるのではないかと私は感じている。

【本城会長】

別にそこと結びつけなくても。早急に、先ほど吉田委員からも話があったように、一応お伝えをするとしたい。

このような取り扱いとすることについて諮り了解を得る。

全体を通して意見等を求めるがなし。

以上で次第3報告（1）第4回分科会の協議内容についてを終了する。

—次第3報告（2）本町ふれあい館の廃止について—

【本城会長】

次に次第3報告（2）本町ふれあい館の廃止についてに入る。

本日は高齢者支援課の職員から来ていただいている。小林課長より説明を求める。

【高齢者支援課 小林課長】

当日配布資料「本町ふれあい館の廃止について（案）」を基に説明する。本町ふれあい館については、昨年も高田区地域協議会で説明した。少し重複するところがあるかもしれないが、資料に沿って説明する。

市で策定した公の施設の再配置計画において、本町2丁目にある本町ふれあい館は資料記載のとおり、建物が老朽化していることから、近接する施設に作品展示と鑑賞コーナーを移転した上で廃止するという事で昨年も同様に説明した。

資料2番の移転先の変更をご覧いただきたい。

昨年の9月に、高田区地域協議会で説明したときは、雁木通りプラザ4階の市民サロンの方に移転するという説明をした。その後、今年度に入り更に検討をした中で、雁木通りプラザの市民サロンだと、基本的には管理をする人を置かない形でショーケースの中にいろいろな展示品を展示するという事だったが、その場合、展示作品が制限されてしまう恐れがあるのではないかとということもあり、福祉交流プラザ1階の情報・展示コーナーとすることが可能かどうか検討をした。今も障害者の皆

さんが年間何日間か展示している。今、本町ふれあい館で展示をしている団体の皆さんを入れることができるかどうかシミュレーションをしたところ、ほぼできるのではないかとわかった。皆さんご存知のとおり、福祉交流プラザ1階の展示コーナーの前には、福祉交流プラザ全体を管理する、市から委託している管理人がおられるので、盗難等の心配もなく展示していただける。更にこちらであれば、いろいろな方が福祉交流プラザに訪れておられるので、作品を見ていただける機会が増えるのではないかと、雁木通りプラザよりも福祉交流プラザの方がいいのではないかと、移転先の変更について検討してきた。

本町ふれあい館の管理を委託している本町2丁目の町内会、それから、展示の利用団体の方々にも説明をし、一応皆さんから概ね納得いただけたのではないかと考えている。

資料3番の福祉交流プラザの概要は、示したとおりである。

今までの本町ふれあい館と比べてそんなに遜色ない形で展示等ができるのではないかと考えている。

最後、資料の下の※印のところを見てほしい。実は先日、正副会長とこの話をしたところ、福祉交流プラザは寺町であり、今まで本町ふれあい館があった本町の賑わいがなくなってしまうので、できれば雁木通りプラザも一緒に選択できるような形で展示できないかという提案をいただいた。それも今検討中である。展示をするショーケースは空いているものがあるので、それを雁木通りプラザに置くことは可能であり、今、雁木通りプラザの所長とも話をしているところである。そこは前向きに検討していきたいと思っており、展示利用団体の皆さんから希望があれば、なるべくそれがかなうような形で雁木通りプラザでも展示ができるようにしたいと思っている。

それから、本町ふれあい館は展示コーナーが主に皆さんが使っているところだが、2階に談話室というのもある。談話室についても、南本町にある南三世代交流プラザ、公民館金谷地区館、オーレンプラザなどそういったところも紹介しながら、今活動している皆さんが困らないよう配慮している。

このようなことから、本町ふれあい館については、今年度をもって公の施設として廃止するというので、正式には来月の高田区地域協議会に諮問をする予定になっている。以上である。

【本城会長】

只今の説明について質問等を求める。

【宮崎委員】

跡地利用は何か考えているのか。

【高齢者支援課 小林課長】

本町ふれあい館の跡地利用は、今のところまだ考えていない。

【富田委員】

本町ふれあい館は平成9年からということで、この時に本町ふれあい館を現在の場所に設置した理由は何か。

【高齢者支援課 小林課長】

資料の右下の(参考)本町ふれあい館というところに平成9年寄付採納とある。以前使っておられたときは、洋品店をされていたと思うが、それを市のために使ってくださいということで寄付をいただいた。そういう意味では建物ありきだった。建物が最初にあって、そこの建物をどう活用していこうとするか、特に高齢者の皆さんが活用できないかということで、いろいろなことを考えて、高齢者の皆さんの趣味活動の発表の場として本町ふれあい館を公の施設として設置したというのが経緯である。

【富田委員】

私は雁木通りプラザのすこやかサロンで、高齢者の方のお手伝いをしている。やはり彼女達、彼らが言うにはあそこは雁木があって非常に歩きやすいとのこと。本町ふれあい館もそういう意味では雁木があって、非常に高齢者の方が行きやすい。福祉交流プラザになると、車がないと来られない。そうすると、なかなか高齢者の方がここに来るのは難しいのではないか。一つの提案だが、この前まで市の文化振興課があった場所は今空いている。あそこは何か使い道があるのか。空いていて、スペース的にもちょうどよい。

【高齢者支援課 小林課長】

文化振興課が今まで事務室として使用していたスペースは、事務室として今後活用していくと聞いている。あそこは展示するコーナーもあるので、そこを使えないかということも検討したが、年間3分の1以上使われている。展示だけではなく、いろ

いろな活動の場として使われているので、あそこに本町ふれあい館がそのまま行くと、多分溢れてしまうということがあり、諦めたという経緯がある。今、委員が言われたとおり、本町ふれあい館の方が行きやすい人もいると思うが、大部分の方が今は車で、高齢者といえども車で動いている方が多い。それは利用団体の方々と話したときにも同様の意見がでた。展示をするときに、皆さん、雁木通りプラザの地下駐車場は1時間無料なので、あそこに車を停めて行ったり来たりして展示されているようである。福祉交流プラザに来ると行ったり来たりもないし、観に来るときも駐車場は無料であり、そういう意味では一長一短があるのではないかと、という意見をいただいた。

【吉田委員】

福祉交流プラザに来るという理由もわかるが、中心市街地、市内の回遊の関係からいくと、やはり、ますます本町3丁目、4丁目、5丁目がさびれてくる。ひいては、さびれていけば固定資産税も下がってくると思う。あの辺は空き店舗がたくさんある。その辺を活用するという考えはないのか。

【高齢者支援課 小林課長】

言われる部分はあると思うが、なかなか空き店舗を新しく借りて活用するというところまで、高齢者支援課としては考えずらかったという面はある。私どもとしては、まずは公の施設の中で活用できる場所がないかと考えた。おそらく空き店舗等を活用するのであれば、費用が発生してくると思っているので、まずは、私どもの公の施設の中で考え、最初は雁木通りプラザ、続いて福祉交流プラザという形で検討した。ただ、空き店舗がたくさんあるということは承知しているので、産業部門などと共有させていただきたいと思う。

【本城会長】

意見として承ったということでよいか。

【高齢者支援課 小林課長】

はい。

【本城会長】

他に質問等を求めるがなし。

以上で次第3報告(2)本町ふれあい館の廃止についてを終了する。

—次第4議題（1）令和3年度地域協議会の活動計画について—

【本城会長】

次に次第4議題（1）令和3年度地域協議会の活動計画についてに入る。
澁市副会長より説明を求める。

【澁市副会長】

- ・資料No.1により説明

【本城会長】

只今の説明について質問等を求める。

【富田委員】

令和3年度地域活動支援事業の活動報告会で、今回各プロジェクトのメンバーの方から報告していただくわけだが、メンバーの方々にはもう2月26日に、このぐらいの時間でやるというようなことを話されているのか。

【小池係長】

各自に今連絡を取っており、一部連絡が取れてないところがあるが、大体のところと連絡が取れている。

【富田委員】

地域活動支援事業を高田区の皆さんにわかっていただくということで、1人でも多くの方に聞いていただくというのが趣旨であり、連絡の際によく説明していただきたいと思う。結果として地域協議会があるということも知ってもらいたいということで提案した。よろしく願います。

【本城会長】

他に質問等を求めるがなし。

私から連絡だが、1月6日に各地域協議会の会長会議が上越文化会館4階の会議室で午後3時30分から行われる旨、昨日私のところに手紙の案内があった。新しい中川市長の挨拶の後、市の方の説明が簡単にあり、意見交換まではいかないと思うが、私が出席する予定なので、その結果については次回の定例会で報告する。

—次第5 事務連絡—

【小池係長】

- ・今後の協議会の日程連絡

第9回地域協議会：1月17日（月）午後6時30分から福祉交流プラザ

第10回地域協議会：2月21日（月）午後6時30分から福祉交流プラザ

次回の分科会の日程は、第1分科会座長の富田委員から提案のあった場の日程調整を踏まえて事務局から案内する。

【本城会長】

今ほどの説明に質疑を求めるがなし。

全体を通して意見等のある委員の発言を求める。

【杉本委員】

報告である。先月の会議で稲田橋下流左岸河川敷の土砂搬出の工事があることを話したが、今年の方は一応終了して綺麗になった。お陰様で、さいのかみができることになった。感謝する。

【本城会長】

他に意見等を求めるがなし。

このあと本日の第2分科会の件で杉本委員と正副会長は残っていただき、相談をさせてほしい。

会議の閉会を宣言。

10 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL: 025-522-8831 (直通)

E-mail: nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。